

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」の改訂(案)について

1 概要

「総合戦略(2016改訂版)」を策定した昨年3月以降の県民ニーズや社会情勢の変化等を的確に捉え、PDCAサイクルのもとで、施策や事業の効果検証を行うとともに、県議会でのご論議をはじめ、「地方創生“挙県一致”協議会」、パブリックコメントなどを通じ、県民の皆様のご意見を反映の上、新たな施策や事業を追加、拡充し、「地方創生の本格展開加速」を図るため、「総合戦略(2017改訂版)」への改訂を行う。

◆主な重要業績評価指標数(KPI): 138項目⇒160項目(+22項目)

2 改訂に反映する主な施策や事業(抜粋)

【基本目標1】新しい人の流れづくり

- 徳島の魅力を直接体感していただく「移住体験ツアー」の充実や、「移住コーディネーター」認定制度の創設など、「切れ目ない移住促進策」の進化
- 「消費者行政新未来創造オフィス(仮称)」と連携した新次元の「消費者行政・消費者教育」の展開をはじめ、消費者庁等の徳島移転に向けた取組みの推進
- 「海外企業の誘致」への挑戦や「進出企業の拠点化」の推進など、全国を先導する「サテライトオフィス」の新次元の展開

【基本目標2】地域における仕事づくり

- 本県が誇る2つの青色「LED」と「藍」を活用した製品開発や高機能素材活用によるものづくり産業の高度化など、強みを活かした「イノベーション」の加速
- 「アグリ」「フォレスト」「マリン」3分野の「サイエンスゾーン」を核とした新技術開発や人材育成による「もうかる農林水産業」の推進
- 「四国デスティネーションキャンペーン」や3大国際スポーツ大会の開催など、千載一遇のチャンスを活かした「戦略的な観光誘客」の推進

【基本目標3】結婚・出産・子育ての環境づくり

- 独身者の結婚願望を叶えるための支援拠点「マリッサとくしま」を核とした、市町村や企業など関係団体との連携による「総合的な結婚支援」の推進
- 「世代を超え地域で支える子育て社会」の実現に向けた、全県的な「病児・病後児」の受入環境の整備及び子育て世代の「経済的な負担軽減策」の展開
- 官民協働による「テレワーク」の本格導入をはじめ、全国モデルとなる徳島ならではの「ワーク・ライフ・バランス」及び「働き方改革」の推進

【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり

- 「消費者行政」や「生涯活躍のまちづくり」などの分野を指定する「募集枠」を新設し、市町村の課題解決を支援する「徳島版地方創生特区」のさらなる推進
- 「消費者目線・現場主義」で規制改革を強力に推進する、全国初となる「徳島県規制改革会議」の運営及び「民泊」をはじめとする具現化策の展開
- 「県民総活躍」による「地球環境に優しいライフスタイル」への転換をはじめとする「脱炭素社会」の実現に向けた機運醸成の推進

3 今後のスケジュール

- 2月28日 総務委員会(付託)へ報告
- 3月13日 閉会
- 3月15日 徳島県地方創生本部会議 ※「総合戦略(2017改訂版)」の決定